

# LGBT法 連合会

平成28年参議院議員選挙に際して  
LGBT（性的指向・性自認）をめぐる課題に関する  
各立候補者の政策と考え方に関する調査

平成28年7月6日時点

## 比例区 日本共産党所属 候補者の回答結果

### 現時点での共産党回答回収ご立候補者（回収順）

古田美知代、佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、松田一志、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり

問1 貴殿が今回の参議院議員選挙に立候補される際の「個人の選挙公約」に、何らかのLGBT支援・権利確保政策は既に含まれていますか？将来はいかがでしょうか？（単独回答）

1. LGBTの課題として、既に含まれている

佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、小路貴之、松本隆、松田一志、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、藤本ゆり

2. 様々な少数者の支援・権利確保を謳う中に含まれている

古田美知代、植本完治

3. 将来入る可能性はある

岡田正和、かみむら泰稔

4. 将来入る可能性はない

5. その他（具体的に：

）

問2 個人としての、LGBT 当事者への接し方について、お伺いします。ご家族や友人から LGBT であることを、もし告白（カミングアウト）されたら、あなたはどうかしますか？（複数回答可）

1. その人を尊重し応援したいと思う

古田美知代、佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、松田一志、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり

2. 距離をおきたいと思う

3. 差別や偏見で苦労するだろうから、異性愛者としてや、戸籍上の性別のままで生きるように諭す

4. 答えられない／分からない

5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問3 LGBT 支援政策の下記の①～⑦の課題各々に関して、法制度や行政がどのように対応すべきか、ご自身のお考えを選び、ご記入下さい。

問3 ① 性的指向・性自認と、LGBT 当事者の直面する困難について、広く社会に教育・啓発を行う

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである

古田美知代、佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

松田一志

3. 現場の裁量にゆだねるべきである

4. わからない

5. その他／補足

問3 ② 学校教育において、多様な性を学習する事を通じて、LGBT へのいじめ・差別を防止する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである

佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり

2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである

古田美知代、松田一志、高橋わたる

3. 現場の裁量にゆだねるべきである

4. わからない
5. その他／補足

問 3 ③ 国・自治体の各レベルで、LGBT（性的指向・性自認に係る）の困難解消に向けた、基本計画を策定し実施する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである  
古田美知代、佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである  
松田一志
3. 現場の裁量にゆだねるべきである
4. わからない
5. その他／補足

問 3 ④ 学校・職場における、LGBT へのいじめ・ハラスメントの防止体制を確立する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである  
佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである  
松田一志
3. 現場の裁量にゆだねるべきである
4. わからない
5. その他／補足

問 3 ⑤ 困難を抱く LGBT に対する、相談・支援の仕組みを、学校・職場等に整備する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである  
佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである  
古田美知代、松田一志

3. 現場の裁量にゆだねるべきである
4. わからない
5. その他／補足

問3⑥ LGBTに対する（性的指向・性自認に係る）、差別や不利益取扱いを防止・禁止する法律やルールを制定する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである  
古田美知代、佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、松田一志、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである
3. 現場の裁量にゆだねるべきである
4. わからない
5. その他／補足  
佐藤耕平：  
すでに自治体の条例も実現しているので、条例も有効に活用。

問3⑦ 施設・職場・学校等にて、LGBTに配慮した、サービスや施設面の対応を推進する

1. 法律で義務化し、全国的に普遍的な制度とすべきである  
佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、岡田正和、小路貴之、松本隆、高橋わたる、坂口多美子、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、かみむら泰稔、藤本ゆり
2. 法律にて具体策は規定せず、行政（省庁・自治体）の裁量に委ねるべきである  
古田美知代、松田一志
3. 現場の裁量にゆだねるべきである
4. わからない
5. その他／補足

問 4 世界では、現在 20 か国で同性婚が制度化され、他の多くの国・地域では同性間に適用できるパートナーシップ制度が広まっています。同性どうしの二人の場合、現行の日本の婚姻制度に当てはまらないため困難に陥る例が多く、異性間と同様・同等に、法的認知・サポートを受けられるようにする法制化を望む声が高まっています。どのような対応が望ましいとお考えですか？（複数回答可）

1. 同性間でも男女と同じ婚姻制度を適用できるようにすべきだ  
佐藤耕平、高木光弘、唐沢ちあき、市田忠義、熊谷智、植本完治、おくだ智子、遠藤秀和、三ヶ尻亮子、いわぶち友、山下かい、原口敏彦、田村智子、大門実紀史、西澤博、小池一徳、椎葉かずゆき、宮内現、いせだ良子、春名なおあき、小路貴之、高橋わたる、真栄里保、益田牧子、松山きょう子、藤本ゆり
2. 現在の婚姻に加えて、別途同性間だけのためのパートナーシップ制度を設けるべきだ  
岡田正和
3. 現在の婚姻に加えて、（事実婚など異性間でも、）同性間でも利用できるパートナーシップ制度を設けるべきだ  
古田美知代、西澤博、松本隆、高橋わたる、真栄里保、かみむら泰稔
4. 各自治体が、条例や首長のリーダーシップにて、同性間の関係を認知する宣誓・証明等を行う仕組みを広げていくべきだ（渋谷区、世田谷区、伊賀市、宝塚市、那覇市、等の例にならぬ）  
古田美知代、岡田正和、松本隆、松田一志、高橋わたる、真栄里保
5. こうした制度は異性間のものであるべきで特に必要ない
6. 答えられない／分からない
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問 5 貴殿が当選した暁には、様々な困難に直面する LGBT 当事者を支援する為、ひとりの国会議員としてどのような事が出来るとお考えでしょうか？ ご自由にお書き下さい。これまでのご経験や実績を踏まえてお書きいただいても結構です。

（自由記述）

●古田美知代：

今後勉強していきます。

●佐藤耕平：

人間が人間らしく生きられる社会、これは私が政治にかかわろうと決心したときの思いです。このささやかな、しかし大きな願いである人権の保障へ、みなさんとともに力をつくします。日本共産党が性的マイノリティーの人たちのいのちと人権を守る政策を掲げて久しくなりました。しかしまだ差別や偏見は根強くあります。これは国民の幸せを求める権利を保障した現憲法を生かそうとするのではなく、根本から改悪しようとする自民党など政治の動きと深くつながった問題と考えます。改憲に反対し憲法にもとづく政治をとという点で一致した野党 4 党（共産党、民進党、社民党、生活の党）の共闘が前進し、国会でも LGBT 差別解消法案など、命と暮らしに関わる 15 の法律案を共同提案しており、これらは今回の参院選の共通政策です。私は野党共闘の勝利と比例での日本共産党の躍進へ力をつくします。ぜひみなさまのお

力をお貸しください。

●高木光弘：

日本共産党は、人権と民主主義、国民の生活向上のため、かつての侵略戦争にも命がけで反対した歴史をもつ政党です。その立場から私も、性的マイノリティの方たちが肩身のせまい思いで生活せざるをえなかったり、根強く残る差別・偏見のために、ありのままの自分を肯定できなかつたりするような社会の現状を変えていかなければと強く思います。様々な差別や不利益扱いを防止・禁止する法律やルールの制定に、まずはすぐに取り組みたいと思います。

●唐沢ちあき：

私は、性的マイノリティの人たちの人権と生活向上のために取り組みます。これは日本共産党の基本的立場でもあります。このアンケートの「問3」で質問された7項目すべての実現のために、全力をあげる決意です。

●市田忠義：

社会のなかにはいまだに性的マイノリティへの誤解や偏見が根強く存在します。そのもとで、自分の自然な性的指向や性自認を否定的にとらえ、強い疎外感や社会不信、自己否定の気持ちにかられる人もいます。こうした人たちも、同じ一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かに暮らせる社会をつくることが求められています。性的マイノリティの人たちが肩身の狭い思いで生活せざるをえなかったり、あるいは差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかつたりすれば、それは健全な社会とはいえません。逆に、マイノリティ当事者が暮らしやすいほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会であるといえます。日本共産党は性的マイノリティの人たちの人権と生活向上のためにとりくみます。先の国会では、「差別解消法」を民進党などと共同提出しました。これが多数派になって成立できるよう、この選挙でも新しい国会でも頑張ります。

●熊谷智：

社会の中にはいまだに性的マイノリティへの誤解や偏見が根強く存在します。そのもとで、自分の自然な性的志向や性自認を否定的にとらえ、強い疎外感や社会不振、自己否定の気持ちにかられる人もいます。こうした人たちも、同じ一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かに暮らせる社会をつくることが求められています。性的マイノリティの人たちが肩身の狭い思いで生活せざるをえなかったり、あるいは差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかつたりすれば、それは健全な社会とはいえません。逆に、マイノリティ当事者が暮らしやすいほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会であるといえます。学校教育において、多様な性を学習することを通じてLGBTへのいじめ・差別を防止することや、LGBTに対する差別や不利益扱いを防止・禁止する法律やルールを制定するなどが必要と考えます。

●植本完治：

性的指向や性自認を理由とする差別の禁止は、国際的にも大きな流れになっています。超党派に広げ、衆院に提出したLGBT差別解消法案の成立に努力してゆきます。

●おくだ智子：

日本社会の現状は性的マイノリティへの誤解や偏見が根強くあります。自分を否定的にとらえ、強い疎外感を持ち社会不信や自己否定の気持ちにかられる人もいます。こうした人たちも「自分らしさ」を主張し、個性豊かに暮らせる社会をつくることが求められています。性的マイノリティ当事者が暮らしやすい社会になるよう日本共産党はこうした人たちの人権と生活向上のために取り組みます。

●遠藤秀和：

だれもが自分らしく、生きていける社会をめざして性的マイノリティの人たちの人権と生活の向上のために全力でとりくみたい。当事者のみなさんの話も直接よくきいて思いを国会に届けたい。

●三ヶ尻亮子：

誰でもが個人として尊重される社会をめざしたい。

●いわぶち友：

社会の中にはいまだに性的マイノリティへの誤解や偏見が根強く存在します。そのもとで、自分の自然な性的指向や性自認を否定的にとらえ、強い疎外感や社会不信、自己否定の気持ちにかられる人もいます。こうした人たちも、同じ一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かに暮らせる社会をつくることが求められています。性的マイノリティの人たちが肩身の狭い思いで生活せざるをえなかったり、あるいは性別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかつたりすれば、それは健全な社会とはいえません。逆に、マイノリティ当事者が暮らしやすいほど、その社会のすべての構成員にとっても暮らしやすい社会であるといえます。日本共産党は性的マイノリティーの人たちの人権と生活向上のためにとりくみます。

●山下かい：

日本共産党は、野党 4 党共同で「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」を 5 月 27 日に衆議院に提出しました。この法律は、性的指向（恋愛対象）や性自認（心の性）を理由とする差別について、行政機関や事業者における「差別的取扱いの禁止」を定め、職場や学校などでの差別を解消する方策を盛り込み実効性確保のために主務大臣が指導や勧告などをおこなうとしています。国会では継続審議になっており、野党はもとより、与党とも協力して、同法案のすみやかな成立のために全力を尽くします。

●原口敏彦：

参院選で共闘する 4 野党の共通政策のなかに LGBT 差別解消法案があり、性的マイノリティーの方たちが一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かにくらせる社会をつくることが求められていると考えます。性的マイノリティーの人たちの人権と生活向上のためにとりくみます。

●田村智子：

・教育分野で、子どもと学校教職員への啓発などぜひ政治が後押ししていきたい。LGBT への差別的な言葉は深く傷つけることになるから。

・思春期に児童生徒が相談できる人と場所を学校内外、インターネットも通じてできるような条件整備。

・当事者の方から直接お話をきき、上記施策が緊急に必要なだと思っています。

●大門実紀史：

お互いを尊重し、連帯しあうことで、社会はつくり変えられます。政治は多数者のためだけのものであってはなりません。みなさんの活動が発展するよう、連帯して行きたいと思います。

●西澤博：

野党 4 党共同で提出した「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」の早期成立を目指します。IOC が「オリンピック憲章に性的指向による差別禁止を盛り込む」とする内容の決議を採択したあとの、最初のオリンピック＝東京オリンピックで、日本の LGBT・SOGI 対策が問われます。この分野でも世界に誇れるオリンピックを実現させたいと思います。

●小池一徳：

私の友人の家族の中にも当事者として生活されている方がおられます。子どもの頃はご本人が悩み、また周囲の人達の誤解や偏見にご家族も悩まれてきた姿を目にしてきました。こうした人達も同じ一人の人間として、堂々と「自分らしさ」を主張でき、個性豊かにくらす社会であるべきです。性的マイノリティの人達が肩身の狭い思いでの生活が強いられたり、差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかったりすればそれは健全な社会とは言えません。逆にマイノリティ当事者がくらしやすいほど、その社会の全構成員にとってもくらしやすい社会です。日本共産党は性的マイノリティの人達の人権と生活向上のためにとりくみます。

●椎葉かずゆき：

日本国憲法に定められた「個人の尊厳」とは、個々の人間が、その多様な存在のまま尊重されなければならないと主張しています。しかし、現状は性的マイノリティへの誤解や偏見が根強く存在するもど、自分を肯定的に受け止められず、孤立感、疎外感、社会不信、自己否定などに苦しみ、いじめや暴力、自傷行為や自殺など、被害が深刻化することも少なくありません。その背景の一つに競争主義や管理主義、画一的な指導のもと、「個性を尊重する」という関係づくりが育みにくい学校教育の在り方にも問題があるのではないのでしょうか。日本共産党は、誰もが人間らしく生きられる社会を目指しており、その立場から性的マイノリティの人権を保障していくことが大切だと考えています。憲法をいかし、自分らしく堂々と生きることができ、個性豊かにお互いが認め合える社会を実現するために力を尽くします。

●宮内現：

マイノリティ（少数者）の人たちが肩身のせまい思いで生活せざるをえなかったりするならば、それは健全な社会とは言えないでしょう。逆に、マイノリティといわれる人たちが暮らしやすい社会であってこそ、すべての人が暮らしやすい社会であると考えます。性的マイノリティにたいする施策が一定前進し、社会的な認知が広がってきたとはいえ、当事者がかかえる困難は依然として大きなものがあると思います。そのため、日本共産党は、民進党など野党4党共同で「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」を5月27日に衆議院に提出しました。こうした法案の成立に力を尽くしたいと考えます。

●いせだ良子：

ありのままの自分で、堂々と生きることを認めてもらえない。こんなにも悲しいことはありません。性的マイノリティに対する誤解や偏見をなくして、誰もが自分らしく生きていける社会をつくることは、日本に暮らす全ての人にとって、重要なことだと考えています。私は学生時代から、就職や労働、福祉など様々な問題に向き合い声を上げた当事者の皆さんと一緒に、問題解決のためのたたかひに取り組んできました。LGBTをめぐる課題についても、当事者・支援者の皆さんと一緒に、法制度の創設や行政への働きかけに力を尽くす決意です。

●春名なおあき：

社会には性的マイノリティに対する差別や偏見が根強く存在していると思います。自分の性の認識や性的指向を否定的にとらえ、疎外感や社会不信から自己否定の気持ちにかられる人もいるでしょう。その人たちが自分らしさを主張でき、個性豊かにくらす社会にしなければなりません。性的マイノリティの人たちが自分を肯定でき、くらしやすい社会は全ての人にとって健全な社会といえると思います。日本共産党は、性的マイノリティの人たちとともに人権と生活向上をめざし取りくんでまいります。

●岡田正和

野党4党が共同提出した「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」



(2016年5月27日衆院提出)の成立のために力をつくします。

●小路貴之

すべての人が「自分らしさ」を主張でき、個性豊かに暮らせる社会をめざします。今回の参院選は、自公政権が明文改憲をねらっているだけに、自民党改憲草案にあるような、個性の否定は、私達の目指すところと真反対であり、これを許さず個人が尊重される社会を目指します。

●松本隆

通常国会で継続審議になった日本共産党など野党4党共同の「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」を次期国会ですべての等に協力をよびかけて審議をすすめるようにし、性的マイノリティーの一人ひとりが社会や地域、企業、学校の中で自然な存在として溶けこむことができるよう、施策を推進することを求めています。

●松田一志

まだまだ自分自身の理解が不足している。

関係団体、関係者、運動している人たちの意見をよく聞くことから始めたい。

●高橋わたる

公的な書類における、不必要な、性別欄をなくす、など、行政の側から、すぐ、できることから、はじめること。

行政から「差別的」取扱いを禁止する条例を作っていくこと。

日本共産党は、民進党など、4党共同で衆議院に「差別解消法案」を提出しました。

●坂口多美子

LGBT当事者と連携して、具体的な困難の解決、支援策にとりこんでいきたい。野党4党で提出している「性的指向又は性自認(心の性)を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」の成立のために頑張りたい。

●真栄里保

LGBTの当事者や支援者の方々、貴団体の運動は、いま政治を大きく動かしていると思います。日本共産党を含む野党4党は、「性的指向又は性自認を理由とする差別の解消等の推進に関する法律案」を国会提出しました。私も、同法の成立とすべての人が自分らしく生きることのできる社会の実現に向けて頑張りたいと思います。

●益田牧子

すべての人が人として尊重され、自由に生きられる社会でなければなりません。性的マイノリティーの人たちが差別や偏見にさらされ、生きづらい社会は健全で豊かな社会とは言えません。

●松山きょう子

私の周りにもLGBT当事者やその家族が何人買いますが、現実を受け止め、乗り越えるには相当の苦労があったと聞いています。性の問題に限らず、マイノリティーの人たちが肩身の狭い思いで生活せざるを得なかったり、差別や偏見のためにありのままの自分を肯定できなかったりすれば、それは健全な社会とは言えないと思います。逆にマイノリティーといわれる人たちが暮らしやすい社会は、全ての人にとって暮らしやすい社会だと考えます。

職場や地域、家庭において、全ての差別や偏見をなくし、国民としての権利が侵害されることのないように、法律の制定や具体的な制度の創設のために、力を尽くします。

●かみむら泰稔

未経験ですので、実態を調査、研究して対応していきたい。

●藤本ゆり

LGBT の理解を深めることが第一義的。多くの人理解できる運動をすすめたい。その上で、国の制度と共に行政の支援を具体的に行う。

\* 質問は以上です。記入漏れがないか念のためご確認の上、ご返送下さい。ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございました。